



# 感動をありがとう

## 花巻東高校 硬式野球部

第95回 全国高等学校野球選手権 記念大会 ベスト4 報告会

大きな歓声と拍手で  
健闘たたえ

第95回全国高校野球選手権大会に県代表として出場した花巻東高校の出場報告会は8月24日、総合体育館で開かれました。

「ありがとう」「立派だった」。会場に詰め掛けた約1500人の皆さんが、甲子園で熱戦を繰り広げた選手たちを大きな歓声と惜しみない拍手で迎え、健闘をたたえました。

佐々木洋監督は「甲子園で日に日に成長する選手が頼もしかった。全国でベスト4の足跡を残してきた。今度こそ日本一になれるようがんばりたい」と再度の挑戦

を誓った後、ベンチ入りした選手を一人一人紹介。各選手がそれぞれ感謝の気持ちや再び甲子園に臨む決意を述べました。  
県勢最高成績に並ぶ、平成21年以来4年ぶりとなる夏の大会ベスト4入りを果たした花巻東ナインの皆さん。最後まで諦めずチーム一丸となってプレーする姿は、たくさんの感動と勇気を与えてくれました。

▲ステージに登壇した(右から)佐々木監督、鹿糠主将ほかベンチ入りメンバー、流石部長。大勢の来場者から健闘がたたえられました

日本一になるという期待には応えられませんでした。たくさんのご声援をいただきありがとうございました。今回はスター選手がいない中、選手たちがそれぞれ持ち味を出し、力を合わせベスト4まで勝ち上がりました。普段からお世話になっている市民の皆さまに喜んでいただけるように、次は優勝旗を持って花巻へ帰ってきたいと思います。



監督  
佐々木 洋 さん

一戦一戦勝ち抜くという強い気持ちを持って臨んだことで今回の結果につながったと思います。市民の皆さまには、甲子園だけではなく、普段の練習のときから応援をさせていただいて、とても感謝しています。その応援のおかげで、準決勝まで勝ち進むことができたと思います。後輩たちにはさらに練習を重ねて、日本一を目指して頑張ってもらいたいです。



主将  
鹿糠 俊輝 さん

